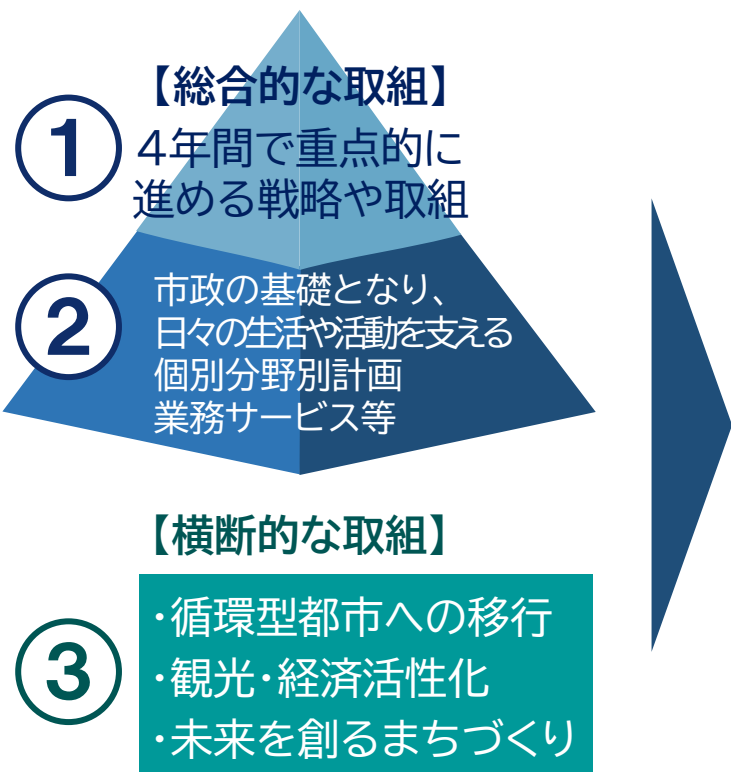


令和8年度 資源循環局 運営方針

I 基本目標

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら取組を推進し、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。



資源循環局では、中期計画を踏まえ、環境に配慮した取組が暮らしの中で感じられ、ごみ出しに困らないまちづくりを推進します。

- ◆ グリーン社会の実現 (① ③)
- ◆ 屋外の受動喫煙対策の推進 (① ②)
- ◆ 持続可能な廃棄物処理の実現 (②)



環境事業推進委員と集積場所啓発の様子

II 目標達成に向けた施策：グリーン社会の実現

新中期

政策群13 環境との共生
施策群30 持続可能な循環型社会への移行
テーマ1 循環型都市への移行

循環型社会への移行

プラスチックや食品廃棄物の更なる資源循環を推進する等、製品のライフサイクルのあらゆる段階で投入資源の削減につなげていきます。

主な取組

- 横浜市資源循環推進プラットフォームによる取組
- 衣装ケースのリサイクル
- リチウムイオン電池等の分別収集・リサイクル
- 生ごみで堆肥づくり～横浜グリーンエキスポの花壇で活用～



プラットフォームによる
マッチングイベントの様子

脱炭素化に向けた施策の推進

「プラスチック資源」の分別定着や排出抑制を進めます。環境に優しいエネルギーの創出、施設の省エネ等によりカーボンニュートラルの達成を目指します。

主な取組

- プラスチック資源の分別定着に向けた周知
- プラスチックの発生抑制・リサイクルの取組
- 事業系一般廃棄物へのプラスチック混入対策の強化
- 環境にやさしいエネルギーの創出・活用



集積場所での広報物

環境学習・普及啓発の推進

子どもたちをはじめ、将来の市民に豊かな未来をつなぐため、環境意識の向上と行動変容の促進を図ります。

主な取組

- 環境学習副読本の配信、工場見学・出前教室の実施
- ポスターコンクールの実施
- 説明会・イベント等による普及啓発
- 外国人へのごみ出しルールの周知



ポスティングの様子

Ⅱ 目標達成に向けた施策：屋外の受動喫煙対策の推進

新中期

政策群8 暮らし・コミュニティ
施策群16 地域の生活環境

受動喫煙防止に向けた意識醸成、広報等

関係局と連携し、「受動喫煙がないきれいなまち」に向け、効果的な情報発信等を行います。

主な取組

- ・ ポイ捨て防止条例を改正
(路上等の屋外の公共の場所を喫煙禁止とするため)
- ・ 条例改正に関する周知・広報
- ・ 路上喫煙に関する問合せ窓口の運用



路上喫煙対策で過去に実施した駅広告

分煙環境整備

喫煙所の整備・維持管理を進めるとともに、分煙環境の向上を図ります。

主な取組

- ・ 密閉型喫煙所の整備・維持管理
- ・ 民間事業者による喫煙所整備補助
- ・ 喫煙所マップの作成



4月15日に開所した横浜駅西口北幸喫煙所

喫煙禁止地区等の取組

喫煙禁止地区や横浜グリーンエクスポ会場アクセス駅等において巡回指導や重点パトロールを強化して実施します。

主な取組

- ・ 喫煙禁止地区の運用
- ・ 喫煙実態調査の実施
- ・ 喫煙禁止地区標識・標示類の更新
- ・ 喫煙禁止地区以外でのパトロールの実施
- ・ 横浜グリーンエクスポ会場アクセス駅での喫煙禁止働きかけ



指導の様子

令和8年度 資源循環局 運営方針

Ⅱ 目標達成に向けた施策：持続可能な廃棄物処理の実現

安定したごみの収集・運搬・処理・処分

ごみの収集・運搬・処理・処分を着実に実施し、安心・安全な市民生活と事業活動を支えます。

主な取組

- 家庭ごみの収集運搬
- 資源物のリサイクル
- 資源集団回収の実施
- 廃棄物処理施設の適正な維持管理・環境測定



家庭ごみ収集作業の様子

将来を見据えた施設整備

将来にわたり安全で安定的なごみ処理体制を確保するため、廃棄物処理施設の整備を着実に進めます。

主な取組

- 保土ヶ谷工場・都筑工場の再整備
- 金沢工場の長寿命化対策
- 鶴見資源化センターの再整備
- 磯子検認所の移転整備



保土ヶ谷工場の完成イメージ図

多様な社会ニーズへの対応

誰もがごみのことで困らない住みよいまちの実現のため、ごみ出し支援のニーズや災害への備え等に着実に対応します。

主な取組

- 地域の美化活動、公衆トイレの改修・維持管理の実施
- 集積場所の適切な維持管理への支援
- ふれあい収集・持ち出し収集の着実な対応
- 災害に備えた取組の実施



ふれあい収集の実施に向けた面談

令和8年度 資源循環局 運営方針

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

区局連携で社会的課題に挑む

社会的課題の解決には、局内での部署連携や区局の連携が不可欠です。当局職員一人ひとりが連携の大切さを認識し、互いの知見や視点を尊重する中で新たな気づきを得ながら、チームとして力を発揮していきます。



区役所や事業者と連携した清掃活動

対話を大切にする組織文化の醸成

職員がいつでも気軽に相談でき、自由に意見を言い合える「場」をつくります。部署を超えた活発なディスカッションを通じて、一人ひとりの能力やアイデアを最大限に引き出します。



プラスチック資源分別定着PJの打合せの様子

挑戦がやりがいにつながる職場へ

責任職は、職員が働きやすく、挑戦しやすい職場づくりの要として役割を果たします。職員が仕事に魅力ややりがいを見出せるよう、組織として失敗を恐れず、新たなチャレンジを促します。



【市役所プラチャレンジ】日本初！リユースカップ式自動販売機

チーム力の向上

市民・事業者の毎日のごみ出しを支える廃棄物処理は、いかなる状況下でも止めてはならない社会インフラです。資源循環局の仕事はそれを支える職員一人ひとりの取組によって成り立っています。日常業務を丁寧に積み重ね、部門を超えて連携することで、安定したごみ処理体制を維持し、市民の安心・安全な暮らしを支えていきます。

し尿収集作業の様子



焼却工場管制室の様子



Ⅳ 横浜グリーンエキスポの成功に向けた機運醸成の取組

市内の学校で子どもたちが生ごみを土壌混合法で堆肥化し、会場の花壇で活用します。また、会場アクセス駅の公衆トイレを改修するとともに、ラッピング収集車やイベント啓発等あらゆる機会を活用し、成功に向けた機運醸成を図ります。



堆肥づくりに取り組む子どもたち

横浜グリーンエキスポのラッピング収集車

